

# 芳養公民館だより

未来へつながる道  
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市



平成31年4月号 No. 427

発行：芳養公民館 館長：泉 京子 主事：野口 直希

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

TEL：22-1429 FAX：23-1909

## 第13回 芳養川グラウンドゴルフ大会 参加者募集！

芳養谷（芳養・中芳養・上芳養）の交流大会として、下記内容のとおり、第13回芳養川グラウンドゴルフ大会を開催します。

ルールも簡単で、初めての方でも楽しめますので、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

【部 門】男女混合の部

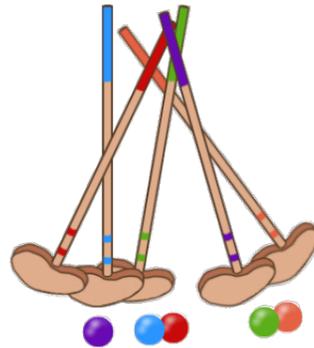
【日 時】平成31年4月21日（日）

※雨天等により延期の場合4月28日（日）

○受付 午前8時30分

○開会式 午前8時45分

○競技開始 午前9時



【場 所】上芳養小学校グラウンド

【参加資格】芳養谷地区在住者で、1チーム4人で申込んでください。

【参加申込】4月17日（水）までに必要事項（チーム名・代表者氏名・代表者連絡先・選手名）をご記入の上、芳養公民館または、上芳養公民館までお申込みください。

※申込用紙は、芳養公民館・上芳養公民館にあります。様式は問いませんので、他の用紙に記入しても結構です。雨天中止・延期等は代表者に連絡しますので、代表者はメンバーへの連絡をお願いします。（午前7時に決定）

【問合せ先】芳養公民館 TEL：22-1429 FAX：23-1909

上芳養公民館 TEL：37-0001 FAX：37-0943

## 芳養イキイキクラブ集会場《4月の予定》

※住所：芳養松原一丁目8-2

どなたでも気軽に参加してください。 ※午後1時30分から

1日（月）童謡を歌う日 14：00から（公民館）

10日（水）縫い物、手作り細工、折り紙等各自

22日（月）町の清掃 浜のゴミ拾い ※集会場に集合



## 第18回 芳養しおさいまつりを開催します！

今年も、新芳養漁港で「芳養しおさいまつり」が実施されます。

軽トラック市では約30店舗が出店し、物販や生シラス・野菜などの食料品を販売します。また、以下のイベントも楽しんでください。

皆様、ご近所お誘い合わせの上ぜひご参加ください。

【日 時】平成31年4月20日（土）

午前8時30分～12時 ※荒天中止

【会 場】新芳養漁港

【イベント予定】軽トラック市・・・8時30分～12時

芳養湾クルーズによる漁船試乗体験・・・9時～11時50分

第1便：9時 第2便：9時35分 第3便：10時10分

第4便：10時45分 第5便：11時20分（最終便）

キャスティングゲーム・・・8時30分～12時

しおさい横丁・・・8時30分～12時

※下記のイベントの開始時間は未定

明洋中学校吹奏楽部による演奏

南ステソーラン団による「よさこい踊り」

芳養保育所児童による演奏

芳養キッズダンスサークル

田辺元町空手スポーツ少年団による演武

生しらすの販売・・・当日放送にて周知



昨年の写真

## 各種生ごみ処理機器の購入費を一部補助します。

処理機器を使用することにより、各家庭でごみ減量が図られ、生ごみを堆肥として再利用することができます。

【交 付 要 件】市に住民票のある世帯の世帯主が、市内の販売店で処理機器を購入し（通信販売やネット販売は対象外）、市内に設置すること。

【補助対象機器】密閉式バケツ容器、コンポスト容器、電気式生ごみ処理機

【補 助 金 額】本体価格（購入価格から消費税及び配達料等を除く額）の2分の1以内で上限は2万円（100円未満は切捨て）

【補助対象個数】1世帯につき1基（ただし、予算の範囲内で先着順）

【申 請】処理機器を購入する前に指定の申請書に必要事項をご記入の上、平成32年3月中頃までに、郵送又は直接提出してください。申請書は、玄関案内係（本庁舎2階）、健康増進課（市民総合センター2階）、各行政局、各連絡所（万呂、ひがし、三栖コミュニティセンターを含む。）、廃棄物処理課（市ごみ処理場）、水道事業所で配布しているほか、ホームページからも取得できます。

【問 合 せ】廃棄物処理課廃棄物対策係 〒646-0053 元町2291-6 ☎0739-24-6218

ホームページ <http://www.city.tanabe.lg.jp/seisou/recycle/namagomi.html>

## 4月の古紙回収日（毎月第1・3火曜日）

### 4月2日（火）・16日（火）

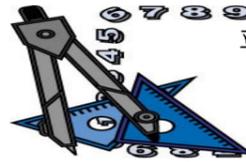
◎午前中に、芳養公民館前に出してください。

◎雑誌、新聞は、必ず紙ヒモでくくって出してください。

※回収日以外は、回収できませんので出さないでください。



# 芳 養 小 学 校



平成30年度 田辺市立芳養小学校

第12号

## 健・考・和

文責 小山 敏幸

TEL 22-1422

### こちら校長室!

#### 本物は続く、続けると本物になる!

本紙はこれが本年度最終号となるとともに、私は3年間の本紙の文責の任を全うすることとなります。この間、とりわけ地域の皆様方には子供たちの健全育成に関わって大変お世話になりました。ここに衷心よりお礼申し上げます。尚、3月20日の卒業式では47名が巣立ち、4月8日の入学式では46名の新入児を迎えます。今後ともよきお導きをお願い致します。

さて、「本物は続く、続けると本物になる」は、東井義雄先生(※注)の遺された言葉で、私の座右の銘の一つです。これまで実践の中で何度となく励まされた言葉です。人は初心を忘れたり、日々に向き合わずに内省を怠るとすぐに流されて実践が甘くなっていくものです。自分のやりたいことや好きなことをやっているはずですが心がついてこず、頭でっかちになっただけに、そのうちルーティン化した業務のように実践を勘違いしてしまいます。本来は何のためにそれをやるのか、何のために働くのかを決心してしまはずのものが、覚悟が定まらず迷走したり、流されたりというように、ブレない自分を練磨研鑽するには長い年月がかかるものです。

しかしそれでも続けていけば、次第に何かの機会をきっかけに質が高まり心もついてくるようになると思います。心が育ってくればくるほどに、様々なところが削り取られていき円みを帯びてきます。実践とは実績のことですから、やればやるほどに積み上がった経歴や経過が今の自分を存在させます。それだけに毎日真剣勝負の連続だということでしょうか。

小さい勇気をこそ

東井 義雄

人生の大嵐がやってきたとき  
それがへっちゃらで乗りこえられるような  
大きい勇気もほしいにはほしいが  
わたしは小さい勇気こそほしい  
わたしの大切な仕事をあとまわしにさせ  
忘れさせようとする小さい悪魔が  
テレビのスリルドラマや漫画にばけて  
わたしを誘惑するとき  
すぐそれがやっつけられるくらいの  
小さい勇気でいいから わたしは それがほしい  
もう5分くらい寝ていたっていいじゃないか  
けさは寒いんだよ  
あたたかい寝床の中にひそみこんで  
わたしにささやきかける小さい悪魔を  
すぐにやっつけてしまえるくらいの 小さい勇気こそほしい  
明日があるじゃないか 明日やればいいじゃないか  
今夜はもう寝るよと  
机の下からささやきかける小さい悪魔を  
すぐやっつけてしまえるくらいの 小さい勇気こそほしい  
紙くずがおちているのを見つけたときは  
気がつかなかったというふりをして  
さっさと引っさまえよ かげひきの鼻紙かもしれないよ  
不潔じゃないか と呼びかける小さい悪魔を  
すぐやっつけてしまえるくらいの 小さい勇気こそ  
わたしは ほしい  
どんな苦難ものり切れる 大きい勇気もほしいにはほしいが  
毎日 小出しにして使える小さい勇気でいいから  
それが わたしは たくさん ほしい  
それに そういう小さい勇気を軽蔑しては  
いざというときの 大きい勇気も  
つかめないのではないだろうか

実践を重ねていくことができるように、教育に携わる者すべてが軌を一にしなければならぬ、と切に願うところです。

※東井義雄……1912年(明治45年)～1991年(平成3年)。兵庫県豊岡の浄土真宗の東光寺住職。小学校教師として奉職。「時を守り、場を清め、礼を尽くす」で有名な森信三をして、「東井義雄氏の存在はわが国現下の教育界の実情を顧みる時、まさに『国宝』の名に値しよう。」と言わしめている。

ここに実践の心を伝える東井義雄さんの『小さな勇気』という詩があります。「早寝早起きする」「あいさつする」「廊下を走らず歩く」「時間を守る」「手を上げて発言する」「ごみをひろう」「そうじをしっかりやる」「くつをそろえる」「宿題をちゃんとやる」「時間を決めてゲームをやる(テレビを見る)」「お年寄りに席をゆずる」……などなど、全て「小さい悪魔」をやっつける「小さい勇気」です。

この勇気をこそ、家庭で、そして学校で、地域で育んで実践へと導いて行くことが、教育の求めるところであるはずで。

一度しかない人生なのだから、自分と向き合い自分を高めていくのが、人生の醍醐味と言えるでしょうか。しかしながら、実社会では色々と誘惑や欲が多いのは、周知の通りです。だからこそ、それぞれが小さな勇気を発揮してそれらを凌駕するような本物の勇気の心を持ち、そして本物の

# 大 坊 小 学 校

## 感謝とともに 念願の新校舎に引っ越し

大坊・団栗の山々にも春の陽ざしが輝き始めました。

平成31年3月2日、地域の方々の協力を得て、完成された新校舎への引っ越しを無事に行うことができました。1年半前の平成29年7月末に「校舎お別れ式」を行い、その後旧校舎は解体、9月1日より仮設校舎で授業を行ってきました。ふり返りますとあっという間の1年半でした。建築工事期間中は、工事車両等の通行や工事に伴う騒音等々で特に学校周辺の地域の皆様方にはご迷惑をおかけしたことと思います。

けれども児童は、工事による怪我等何もなく無事に過ごせたことは本当にありがたいことでした。またさらに、現場監督さんから、「工事関係者の方々も「かすり傷ひとつなかった」と聞いた時は、これもまたみごとなことだったと重ねて嬉しく思いました。大坊小学校新校舎建築にこれまで尽力してくださった皆様方、またさまざま関わって頂いた大勢の方々にも心より感謝申し上げます。



新校舎の昇降口です。木の香りが漂います。

3月4日月曜日から念願の新校舎で学校生活をスタートさせております。各教室ではいきいきと複式授業に取り組む子どもたちの姿が見られます。6年生は卒業までの2週間、この新校舎で有意義に、そしてみんなとたくさんの思い出を作ることができました。本当にありがとうございました。

## 第49回 大坊小学校卒業証書授与式

3月20日、第49回大坊小学校卒業証書授与式を挙行政致しました。

ご来賓の皆様にも多数ご出席頂きありがとうございました。

今年度は、完成したばかりの校舎多目的ホールにて実施しました。可動式の舞台の上には新しい演台と花台が置かれ、新しい立派な看板が掲げられました。何もかもが新しい中での卒業式でした。厳粛な中にも、皆様方から温かい励ましの言葉を頂きながら、3名の子どもたちは希望を胸に元気に巣立っていきました。今後とも温かく見守って頂けますよう心よりお願い申し上げます。

## 卒業おめでとう! 卒業生へ

～何かあって 迷った時は 一歩前へ、勇気出して 知恵出して～

〈校長式辞から一部抜粋〉今日は皆さんが卒業されるにあたり、最後にもう一つ言葉を贈りたいと思います。それは、「何かあって、迷った時は 一歩前へ 勇気出して 知恵出して」ということです。

3人はともに中芳養中学校へ進学します。きっと3人で相談しながらやっていけるでしょう。5名の大坊小学校出身の先輩たちも、心強い相談相手です。けれども、時には自分一人で自分のことを決めていかなければならない時もあるでしょう。そんな時は、一歩前へ進んでください。勇気を出して、知恵出して、前へ進んでみてください。皆さんには大坊小学校で培ってきた大きな力があります。応援してくれる家族もいます。皆さんが一歩前に進もうとする限り、皆さんの周りにいる人たちが必ず後押しをしてくれます。安心して前に進んで行ってください。

大坊小学校で育ててきた3人の絆を大切に、そして、みかんの実り豊かな「父母の拓きしこの里」を誇りに中学校へと進んでいってください。

小学校入学から1,187日、本日をもって三人の小学校の教育課程は修了です。今日の卒業式を迎え、寂しい気持ちでいっぱいですが、三人のこれからの成長を中学校の先生方に託し、笑顔で見送りたいと思います。

松上聖奈くん、宮崎亮輔くん、山崎遥仁くん

卒業おめでとう!

# 明 洋 中 学 校

明洋中学校から

◇第70回卒業式を挙行政しました

3月7日、本校卒業証書授与式を挙行政し97名の卒業生が力強く巣立っていきました。地域の皆さま方におかれましては、三年間卒業生を温かく見守っていただき、また、様々な活動においてご支援ご協力いただきましたことお礼申し上げます。

「～新しい時代に～」 (式辞より抜粋)

本校を旅立つ97名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。皆さんの門出を心よりお祝い申し上げます。

本校は、昭和二十五年に第一回卒業式を挙行政してから、今回で七十回目の卒業式を迎えることになり、この節目に皆さんが卒業されることになりました。

三十年間続いた平成の時代が終わり、五月から元号が変わり新しい時代が始まります。

これから始まる新しい時代は、卒業生の皆さんが社会の中心として活躍する時代になることはまちがいありません。

まさに皆さんが活躍する時代が到来したと言えるでしょう。

以前から、皆さんには中学校三年間で、たくさんのことを学び、たくさんを経験し、将来、社会人となった時、役に立つ力をしっかり身につけて欲しい。そのためには中学校生活で様々なことにチャレンジをして欲しいと話しました。

中学校三年間の学校生活で、仲間たちと切磋琢磨しながら、知識や技能、人とのつきあい方、責任感、礼儀、マナーなど、数え切れない力を身につけてきました。皆さんには、これから進む新しい世界でも、さらに経験を積み、心身ともに大きく成長して欲しいと思います。

さて、現在、社会は時間の流れが速く変化の激しい時代になっています。

これからの時代を乗り越えて行くために、さらに皆さんに身につけて欲しいことがあります。

現在、第四次産業革命が始まったと言われ、飛躍的な科学技術の発展で、社会の構造が大きく変わろうとしています。

AI「人工知能」の開発が進められ、日進月歩で技術革新が進められており、「シンギュラリティ」と言われる「人工知能」が人間の知能を超える時が、26年後の2045年ごろに、迎えるのではないかと言われています。

また、インターネットと物を結びつけるIoTの技術や車や電車などの乗り物の自動運転、ドローン技術を使った空飛ぶタクシーの開発も進められています。少し前までは、このことはSFの世界、空想の世界のことで、まさか現実のものとなってくるとは夢にも思いませんでした。

このように、これからの社会は加速度的に大きく変わろうとしています。

この大きな変化の時代で、社会で柔軟に対応し、乗り越えていく力を発揮するためには、日ごろから日々の生活の中で、常に先のことを予測しながら対応していくことを大切にしてください。

昔から「鷹の目、虫の目、魚の目」で物事を見るということが言われています。空を飛ぶ鷹のように高いところから広範囲を見る目、虫のように近いところから詳しく見る目、水の中を泳ぐ魚のように周りの流れを見る目、このように、いろんな視点から物事を見ることも大切にし、新しい時代を乗り切ってください。

二つ目ですが、これからの時代はグローバル化の社会となり、国際的な視野や感覚がより必要となる時代になってきました。

日本の社会情勢は世界の動きで大きく影響される時代となり、もはや日本だけの価値観や日本だけの生活という感覚では通用できない状況になってきました。

インターネットが全世界につながり、瞬時に世界の情報が得られ、日常生活においても、外国の方と接する機会が多くなりました。

ひと昔より世界がより近くなり、これから皆さんが世界の動きにしっかり目を向けていくことも当然のことなかも知れません。

グローバル化の社会への対応と言えば、外国に目を向けがちになりますが、日本の文化や伝統など、自国のことをよく理解してこそ、世界との関わりができます。

これから、卒業生の皆さんは新しい世界に飛び立ちますが、皆さんにはまだ自分が知らないたくさん力を秘めています。

自分の中にある、知らない力を引き出すためにも、いろんなことに挑戦し、一生懸命取り組み、一歩一歩力強く前進してください。

卒業生の皆さん、新しい世界で益々、ご活躍することを祈念しています。